

シモアカ

【橋梁長寿命化修繕事業】下赤橋橋梁修繕

延岡市では、条例に基づき、事業費が1億円以上の事業等については、案の段階で、パブリックコメントとして、市民の皆様にご意見をお聴きすることになっていることから、今回、パブリックコメントを実施するものです。

○事業目的

下赤橋は大分県と宮崎県の2県を流下する北川を跨ぐ橋梁であり、延岡市北川町下赤地区にある下赤ダムの下流側に位置している。

過年度に実施した橋梁点検において、橋梁の本体構造に著しい影響を及ぼさないが塗装や橋脚の劣化等が確認されたため、予防保全の観点から、令和5年度に詳細調査を実施している。また、橋梁に使用されている塗装に有害物質であるPCB（ポリ塩化ビフェニル）が低濃度含まれていることを確認している。

以上の経緯から、令和7年度より修繕を実施する予定のものである。

○箇所概要

〔橋梁諸元〕

架設年度：1955年（昭和30年） 橋長：73.2m 幅員：5.1m 構造：鋼単純トラス、RCT桁

〔事業内容〕

全 体 事 業 費 ：1億4千万円

修 繕 実 施 予 定 年 度 ：令和7年度（渇水期での施工が必要なため、年度を繰越す可能性あり）

主 な 修 繕 内 容 ：塗装塗替 A=952㎡ コンクリート断面修復 N=1.0式
排水管取替 N=1.0式 PCB処理 N=1.0式

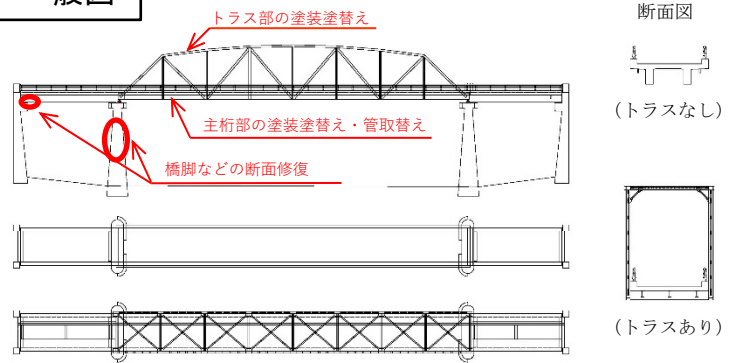
後年度の維持管理経費：橋梁に関しては、5年に1度、定期点検を行うこととなっていますので定期点検費用（概算2百万円／5年）が必要となります。

また、整備後に定期点検を行い修繕が必要と判断された場合には、修繕を計画的に行います。

位置図



一般図



橋梁全景



変状箇所(修繕方法)

